

# CAO File Manager

## ユーザーズ ガイド

Version 1.0

January 10, 2006

### 【備考】

CAO ファイルマネージャは CaoFile クラスを使った汎用的なファイル操作ツールであるため、プロバイダ(またはデバイス)によっては本ツールの操作だけでは操作が完了しない場合がありますので注意してください。例えば、本ツールでファイルを削除してもデバイス側では削除されなかったり、意図しない動作になることがあります。

**【改版履歴】**

日付	版数	内容
2006/1/10	1.0	初版.

**【対応機器】**

機種	バージョン	注意事項

## 目次

1. はじめに .....	4
2. 概要 .....	4
2.1. ロボットコントローラとの接続.....	5
2.1.1. 接続パラメータ .....	5
2.2. フィルタ.....	7
3. コマンドラインオプション .....	8
4. 利用可能プロバイダ .....	9

## 1. はじめに

CAO File Managerはロボットコントローラなどに接続して、ローカルなPC間とのファイルの送受信や管理をより容易に行えるアプリケーションです。以下に CAO File Manager の使い方について説明します。

## 2. 概要<sup>1</sup>

CAO File Manager はロボットコントローラ等に接続して、ロボットコントローラ内にあるプログラムファイル、変数ファイルなどをローカル PC との間で送受信することができ、Windows のエクスプローラのように容易に扱えるのが特長です。ロボットコントローラに接続すれば、コントローラ内のファイルなどにアクセスしてコントローラ内のファイルを PC にバックアップをとるなどの操作が容易に出来ます。

ローカル PC 内のファイル操作、コントローラ間とのファイルの送受信などが行えますが、他アプリケーションとのファイル操作は未サポートです。

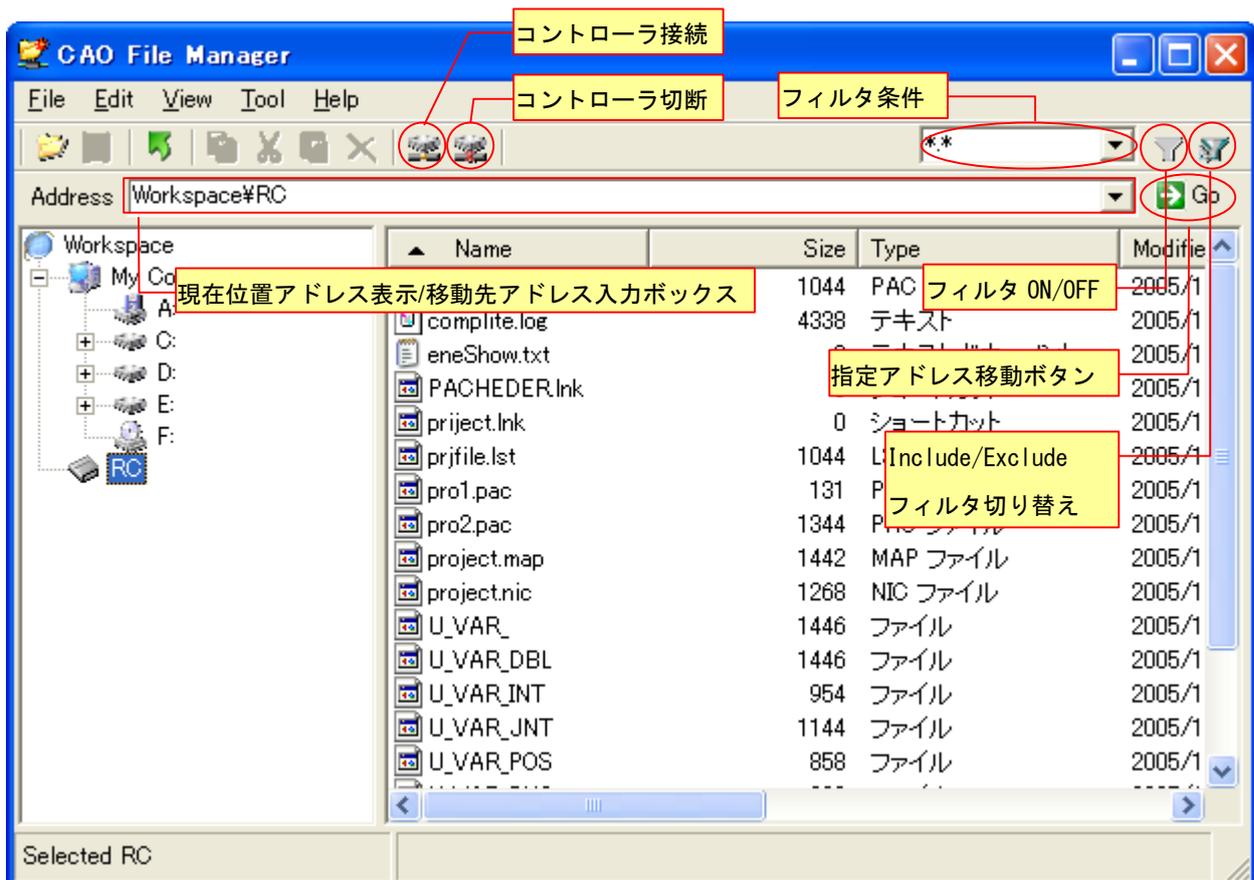


図 2-1 CAO File Manager のメイン画面

<sup>1</sup> システム属性、隠し属性のファイル/ディレクトリは表示しません。

## 2.1. ロボットコントローラとの接続

CAO File Manager とロボットコントローラを接続することによって、ローカル PC とコントローラ間でファイルを送受信することができます。ここでは、ロボットコントローラとの接続の方法を述べます。

### 2.1.1. 接続パラメータ

ロボットコントローラと接続するには、「ファイル」メニューの「接続」を選択します。

選択後、下図のダイアログが表示されるので必要な項目を設定して OK ボタンをクリックします。



図 2-2 接続ダイアログ

**[Controller Name]** コントローラ名を設定します<sup>2</sup>。既に接続しているコントローラ名前は設定できません。接続が成功したコントローラの情報履歴として記録されます。履歴数は最大 8 個です。

**[Provider]** プロバイダを設定します。

**[Machine Name]** プロバイダを動作させる PC マシン名を設定します。

**[Option]** プロバイダの接続オプションを指定します。

**[Root]** 設定した階層を Root として表示します。(デフォルト:“/”)

#### ■ 例:FTP プロバイダの場合

(条件)サーバ名:FTPServer, ユーザ名:Sample, パスワード:SamplePass

ProviderName:“CaoProv.FTP”

Option:“Server=FTPServer,User=Sample,Password=SamplePass”

<sup>2</sup>“¥”, “/”を含む, もしくは“My Computer”である文字列はコントローラ名に設定できません。

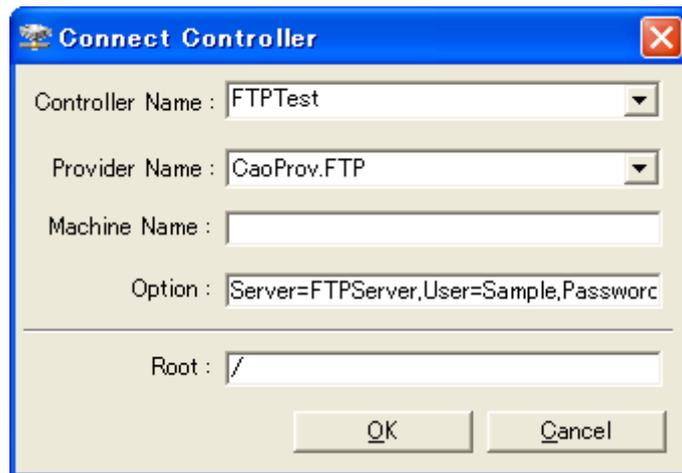


図 2-3 FTP プロバイダの場合

## 2.2. フィルタ

フィルタを設定することで、目的のファイルのみを表示させることができます。



図 2-4 フィルタ設定画面

フィルタ条件入力ボックスにフィルタ条件を入力し、フィルタボタンをオンにすることでリストビューのファイルをフィルタ表示します。<sup>3</sup>

フィルタ条件に複数条件を指定するに、セミコロンで区切ります。

(例) txt ファイルと xls ファイルを指定する場合: \*.txt;\*.xls

Include/Exclude フィルタは、フィルタ条件のファイルを表示する/しない機能です。

フィルタボタンについては表 2-1 を参照して下さい。

表 2-1 フィルタボタン状態一覧

ボタン名	ボタン状態	意味
フィルタ ON/OFF		フィルタがオフになっている。
		フィルタがオンになっている。
Include/Exclude フィルタ		フィルタ条件のファイルのみを表示している。
		フィルタ条件のファイルのみを表示していない。

<sup>3</sup> フィルタ表示されるのはファイルのみで、ドライブやディレクトリ、コントローラなどはフィルタ表示されません。

### 3. コマンドラインオプション

CaoFileman.exe を起動する際に下記のオプションを指定することができます。

**CaoFileman.exe <ファイル名>**

<ファイル名>: Open するファイル名を指定します。

(例) > CaoFileman.exe d:¥temp¥test.fmg

## 4. 利用可能プロバイダ

CaoFileManager は表 4-1 の CAO の関数をコールします。したがって、それらの関数を実装したプロバイダのみ使用することができます。実装が“必須”になっていない関数を実装されていない場合でも CaoFileManager は動作しますが、それに関連する機能を使うことはできません。

表 4-1 コールされる関数一覧

スケルトンの関数名 (メソッド名)	説明	備考	実装
コントローラクラス			
FinalConnect (CaoController::AddController)	プロバイダの接続		必須
ファイルクラス			
FinalInitialize (CaoController::AddFile)	CaoFile の前処理	1. デリミタには“¥”か“/”を使用すること。 2. 以下のいずれかの方法でパスを指定できること。 ・CaoFile 名にフルパスを指定 ・CaoController のオプション文字列で“Path=<パス>”と指定	必須
FinalGetAttribute (CaoFile::get_Attribute)	属性の取得	Windows で使用されている属性値を使用すること(最低でもディレクトリ属性を取得できること)。	必須
FinalGetFileNames (CaoFile::get_FileNames)	ファイル名リストの取得		必須
FinalGetPath (CaoProvFile::get_Path)	ファイルパスの取得		必須
FinalCopy (CaoProvFile::Copy)	ファイルのコピー		推奨
FinalDelete (CaoProvFile::Delete)	ファイルの削除		推奨

FinalMove (CaoProvFile::Move)	ファイルの移動		推奨
FinalRun (CaoProvFile::Run)	ファイルの実行		推奨
FinalGetDateCreated (CaoProvFile::get_DateCreated)	ファイルの作成日時取得		推奨
FinalGetDateLastAccessed (CaoProvFile::get_DateLastAccessed)	ファイルの最終アクセス日時取得		推奨
FinalGetDateLastModified (CaoProvFile::get_DateLastModified)	ファイルの更新日時取得		推奨
FinalGetSize (CaoProvFile::get_Size)	ファイルのサイズ取得		推奨
FinalGetType (CaoProvFile::get_Type)	ファイルの種類取得		推奨
FinalGetValue (CaoProvFile::get_Value)	ファイルの内容取得	異なるコントローラ間でのファイルのコピー/移動に使用	推奨
FinalPutValue (CaoProvFile::put_Value)	ファイルの内容設定	異なるコントローラ間でのファイルのコピー/移動に使用	推奨